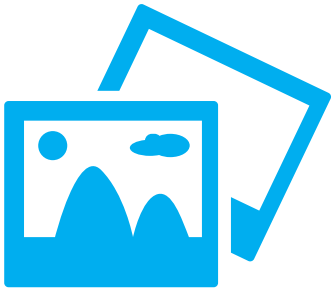
閲覧用

※冊子が必要な方は事務所窓口または町経営企画課行政経営グループまでご連絡ください。

令和元年度決算



グラフと写真でみる まちの決算と 財政状況

北海道栗山町

もくじ

グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
○一般会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
○国民健康保険特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
○介護保険特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・11
○水道事業会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
○下水道事業会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

写真でみる主な実施事業

- 栗山町第６次総合計画の主要施策より -・・・・・・・・・・・・・・・・15

グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
○町債残高の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況・・・・・・・・・24

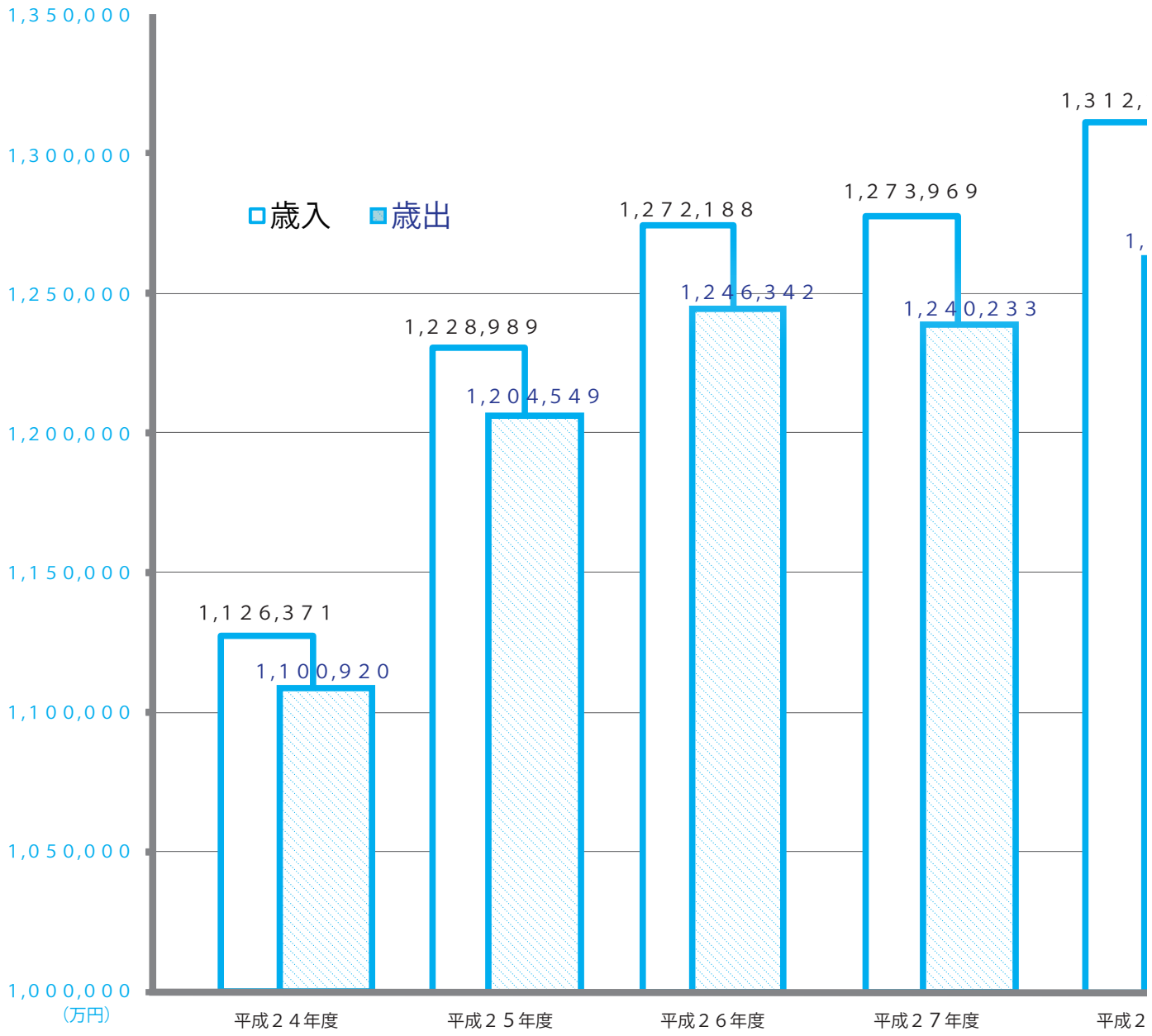
参考 南空知９市町の平成 30 年度普通会計決算概要 ・・・ 25

※本冊子に掲載している決算額等は、表示単位を揃えるため端数調整を行っています。

グラフでみる

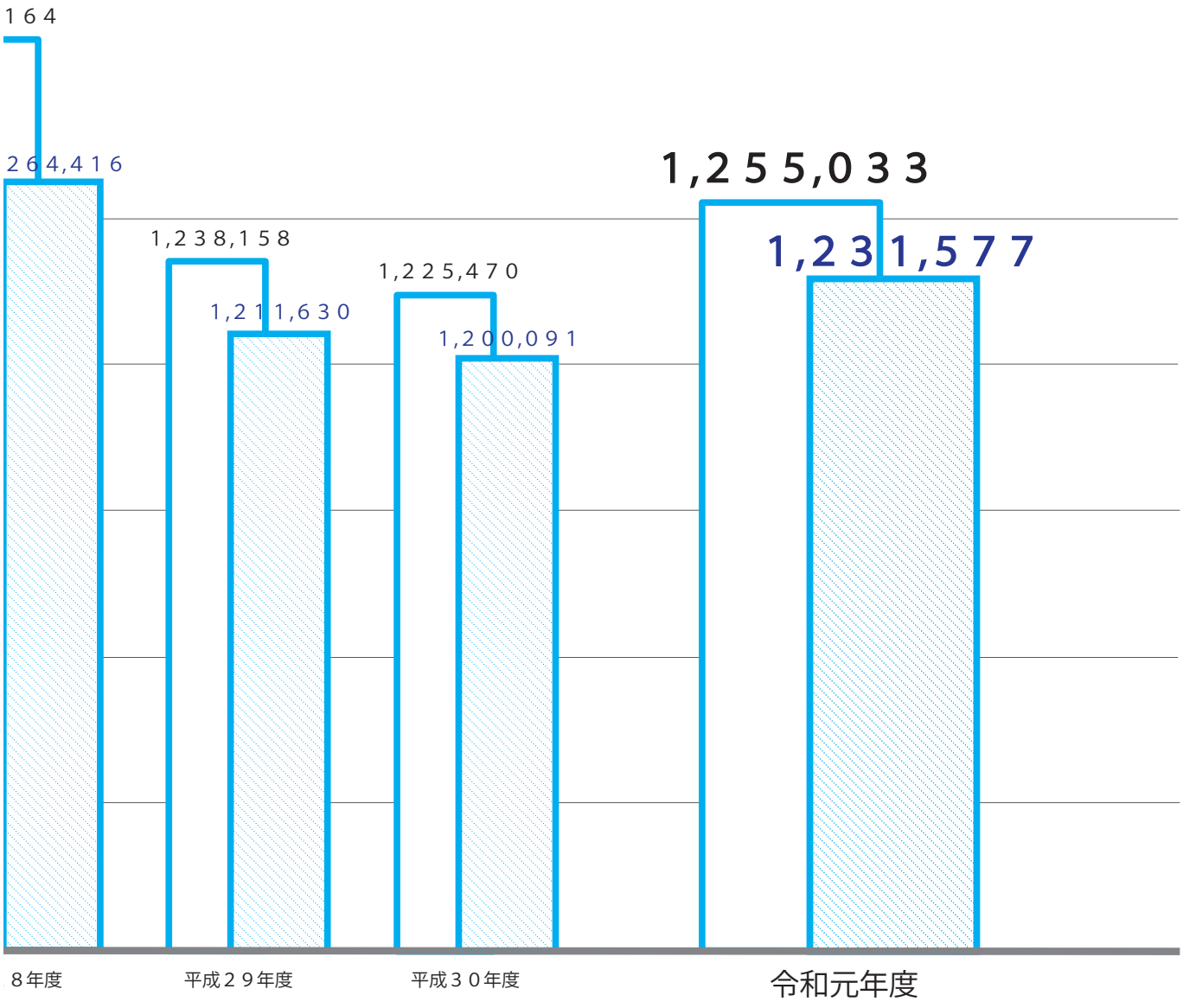
決算概要

全会計の決算概要と推移



令和元年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の令和元年度決算総額は、歳入で１２５億５，０３３３億１，４８６万円の増）となりました。

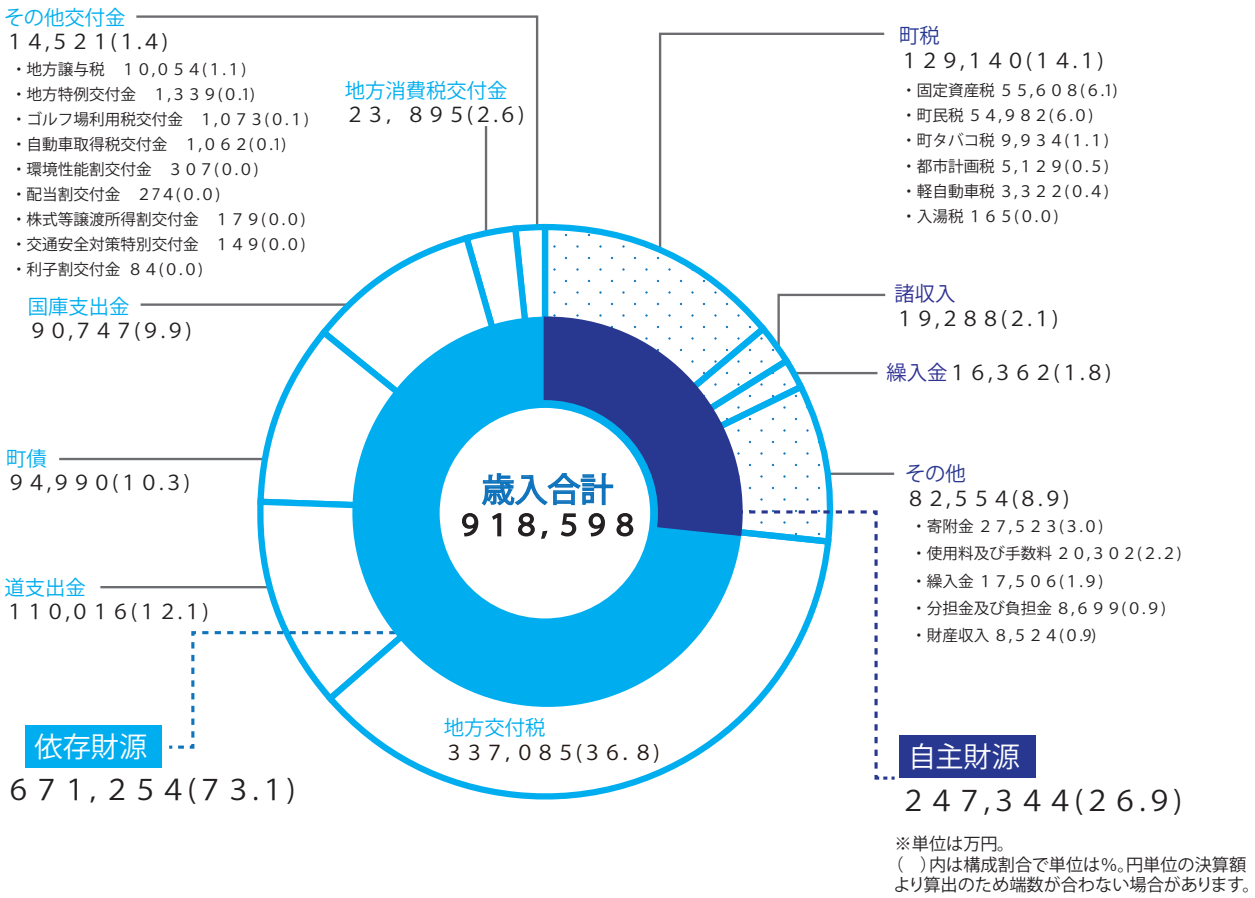
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



祉学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成事業会計）の決算が９月議会定例会で認定されました。

万円（前年比２億９，５６３万円の増）。歳出で１２３億１，５７７万円（前年比

一般会計の決算概要

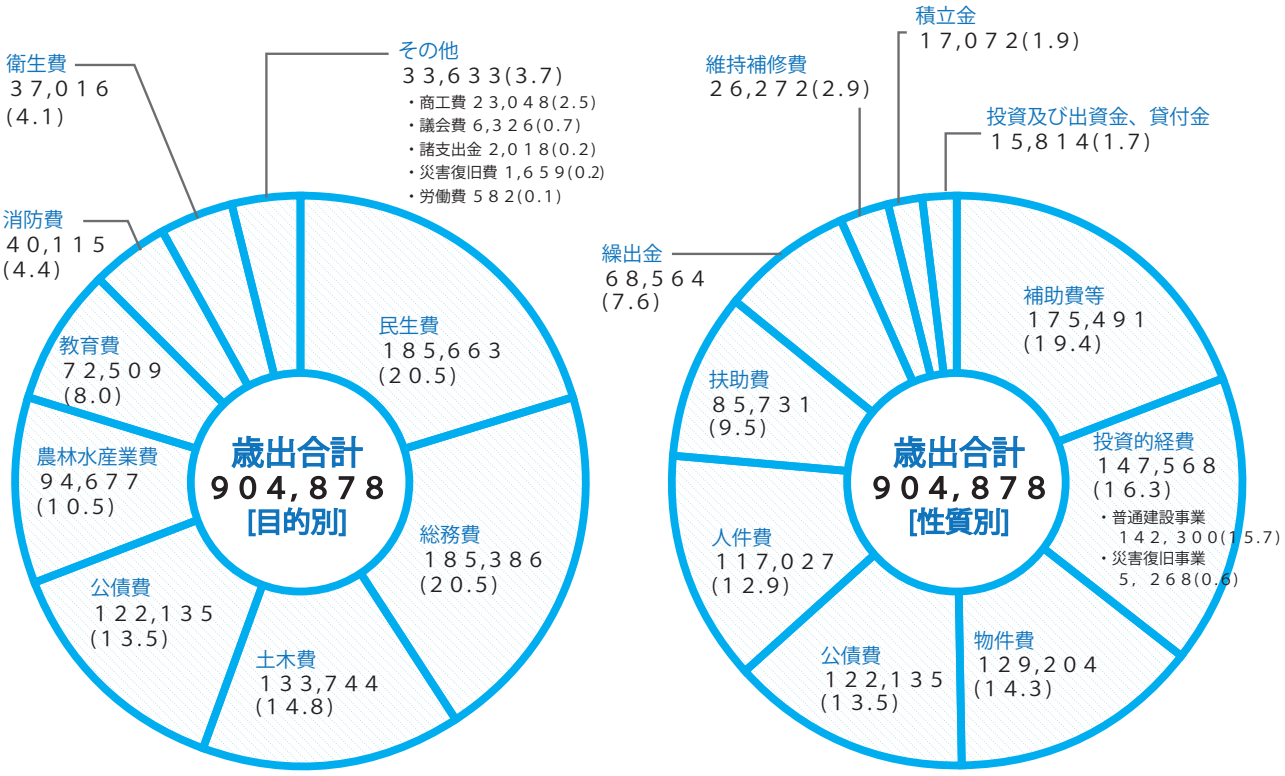


※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入総額は９１億８，５９８万円。
前年比２億２，６４２万円の増。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は９１億８，５９７万５，３９１円。歳出（支出）総額は９０億４，８７８万２，１９０円となり、差額の１億３，７１９万３，２０１円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源２３６万８千円が含まれているため、実質収支は１億３，４８２万５，２０１円になりました。



※単位は万円。
（ ）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

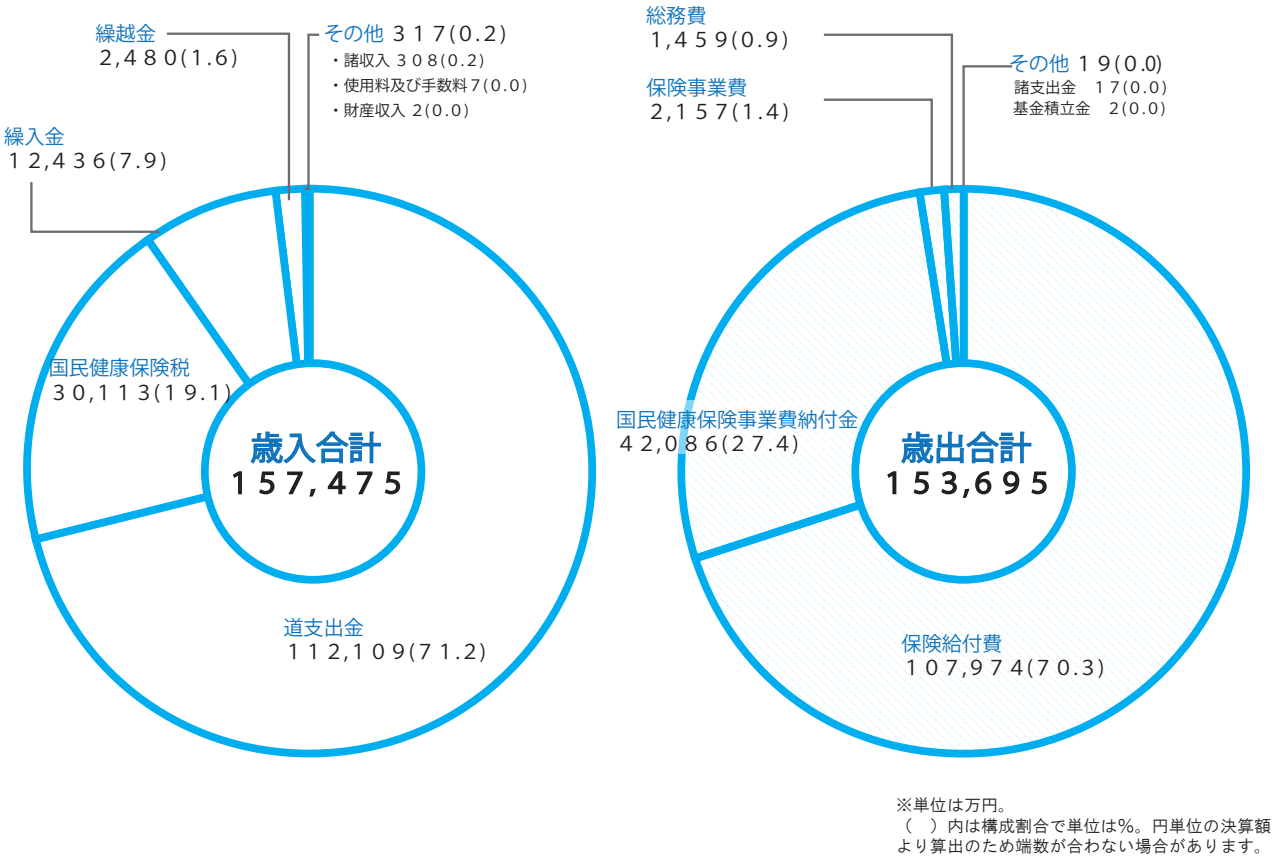
歳出総額は９０億４，８７８万円。
前年比２億５，２８４万円の増。

歳入は、地方交付税や道支出金の増により、前年度比で約２億２，６４２万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が２６．９%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が７３．１%となりました。

歳出は、前年度比で約２億５，２８４万円の増となりました。増減が大きい費目としては、総務費が約１億５１３万円の増、土木費が約１億３，４２９万円の減となりました。

歳出全体の構成は、民生費が最も多く、次に総務費、土木費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要



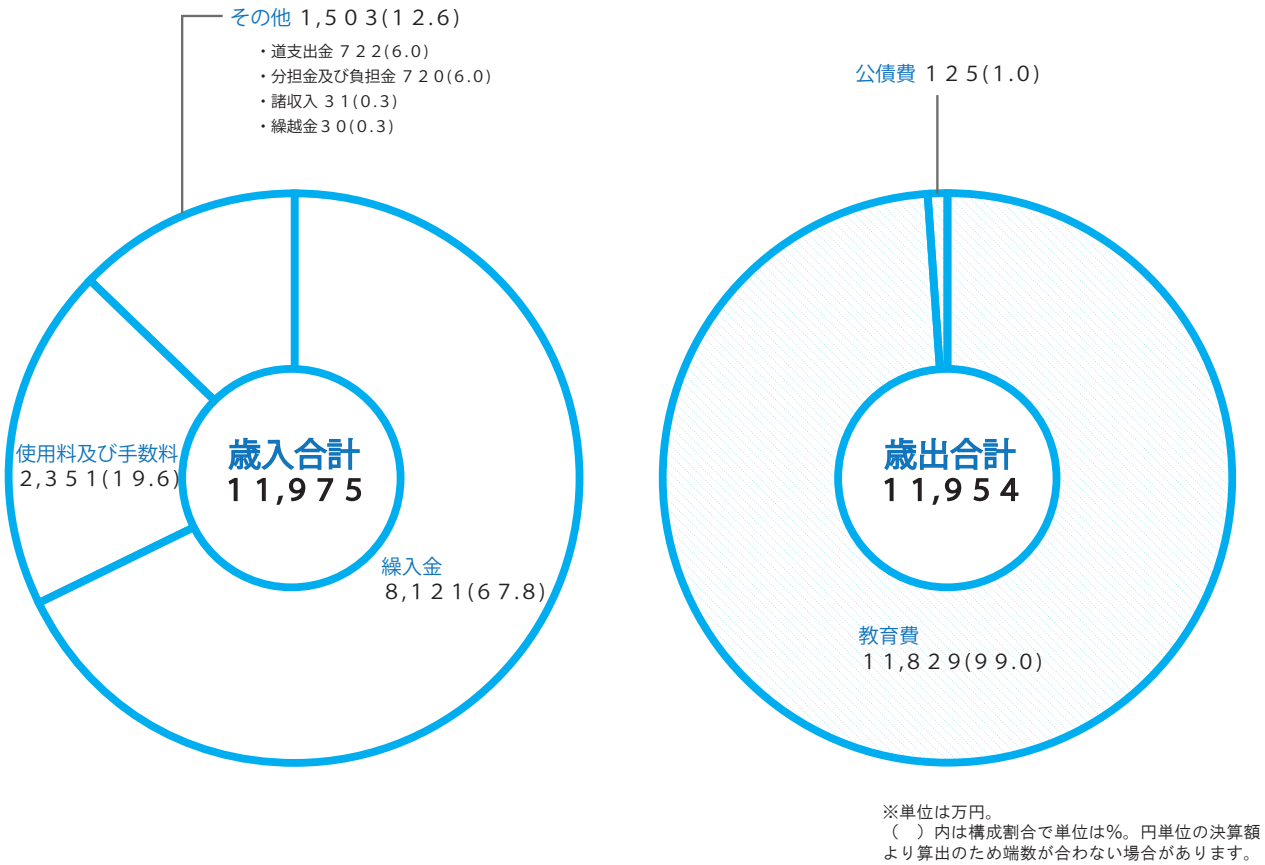
※単位は万円。
（ ）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入15億7,475万円。歳出15億3,695万円。3,780万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和元年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,726世帯、被保険者数は2,935人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要



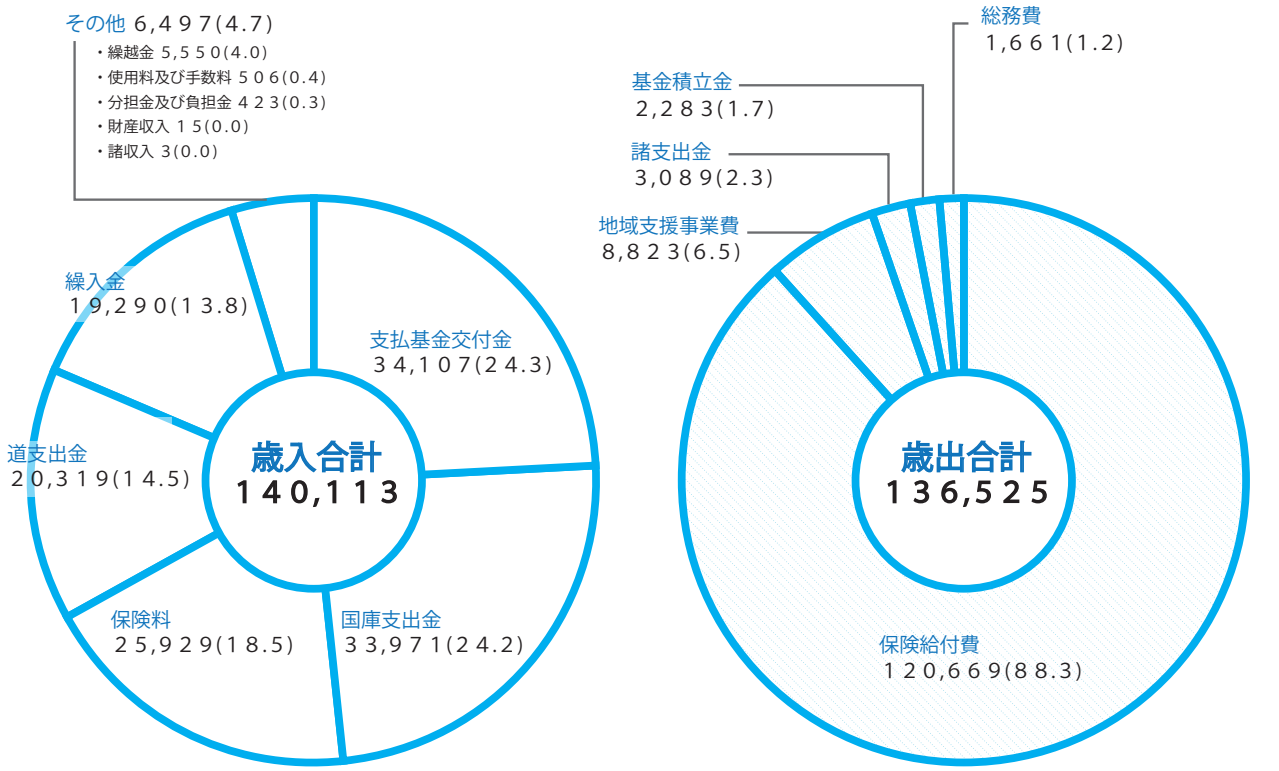
※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入１億１，９７５万円。歳出１億１，９５４万円。２１万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は減少傾向であるものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来３１年連続就職率１００%を達成しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

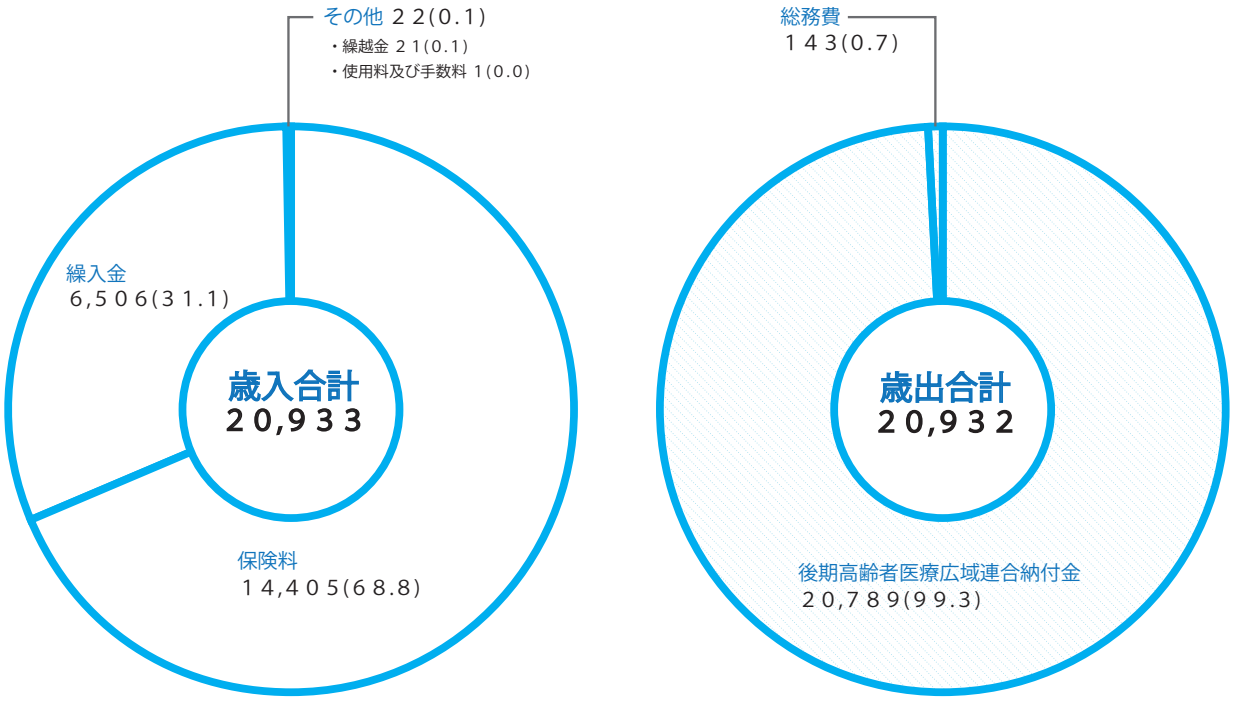
歳入１４億１１３万円。歳出１３億６，５２５万円。３，５８８万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



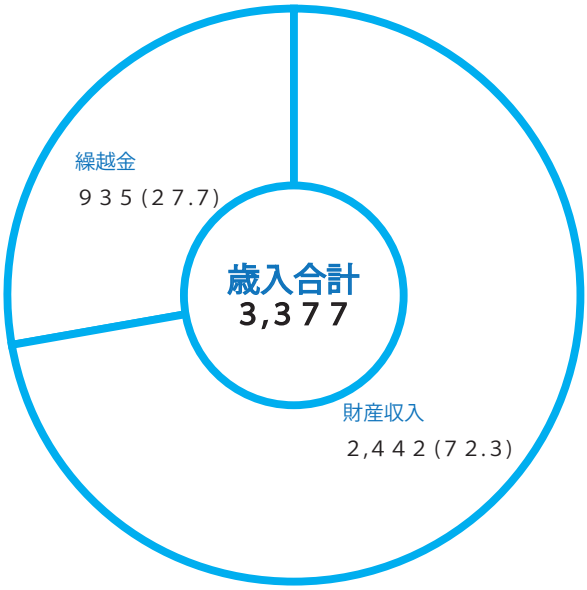
※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入２億９３３万円。歳出２億９３２万円。
１万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



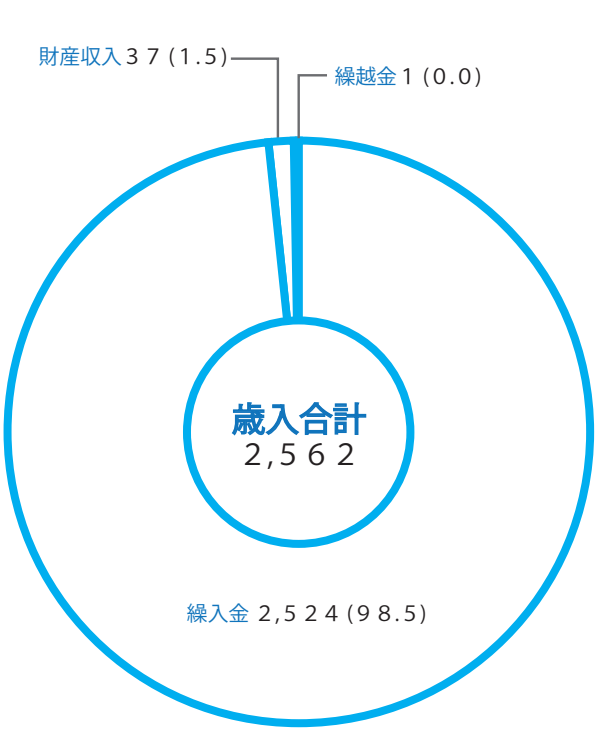
※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

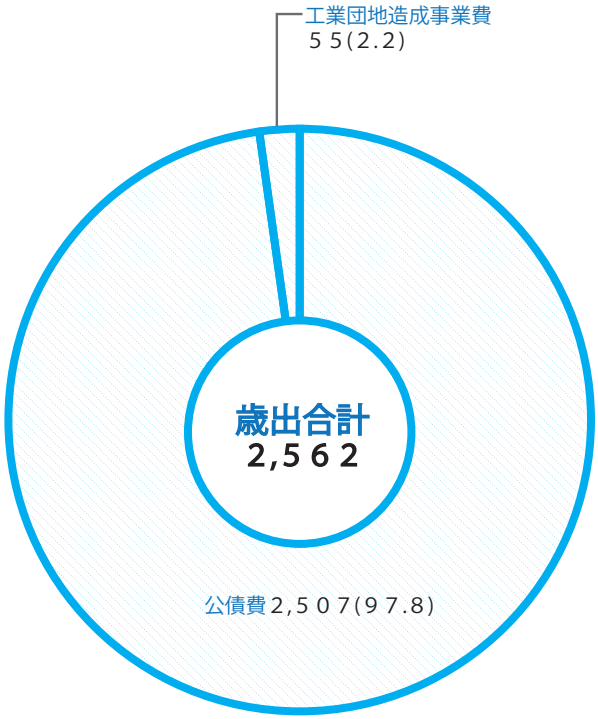
歳入３，３７７万円。歳出１，０３０万円。２，３４７万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、朝日４丁目住宅団地第４期造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成２７年１０月より分譲を開始（全１７区画）し、令和元年度末までに１２区画を販売しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要





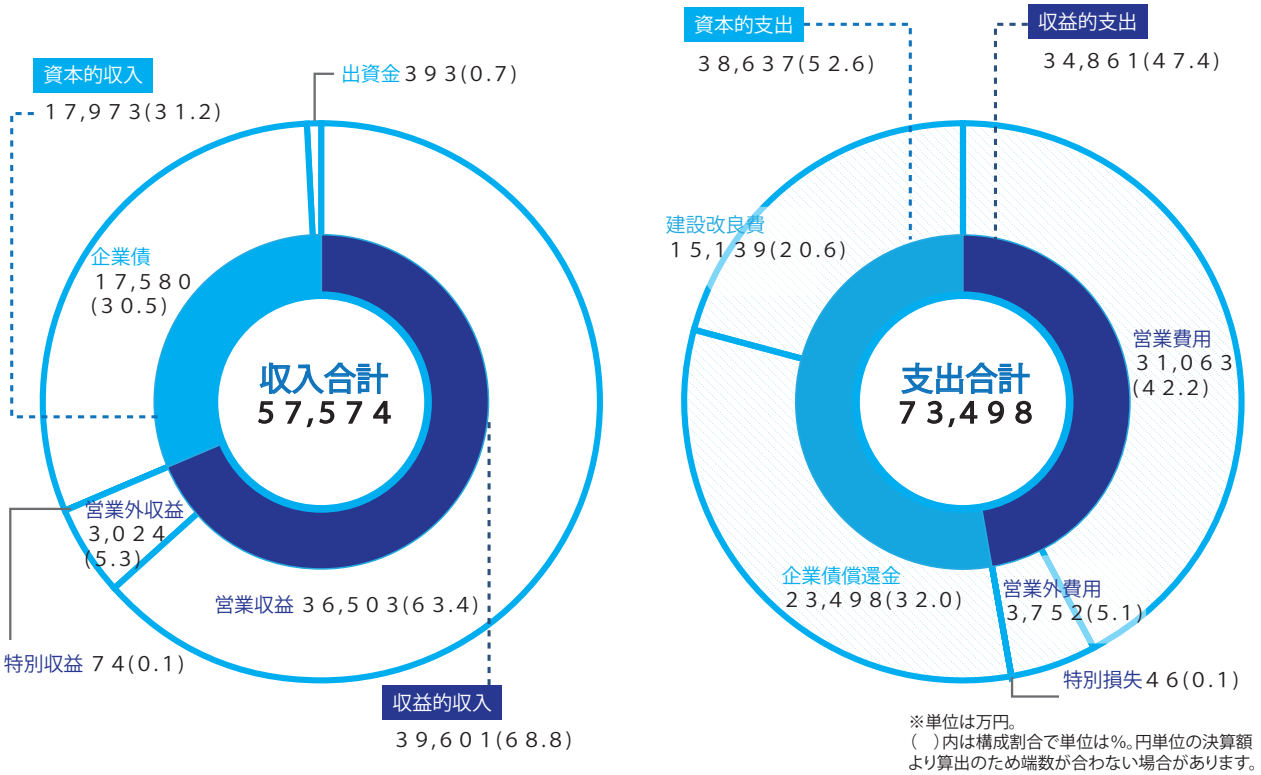
※単位は万円。
（　）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入２，５６２万円。歳出２，５６２万円。

工業団地造成事業特別会計とは、第４工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成３０年度より分譲を開始（全７区画）し、令和元年度末までに１区画を賃貸借しました。

水道事業会計の決算概要



※単位は万円。
（ ）内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

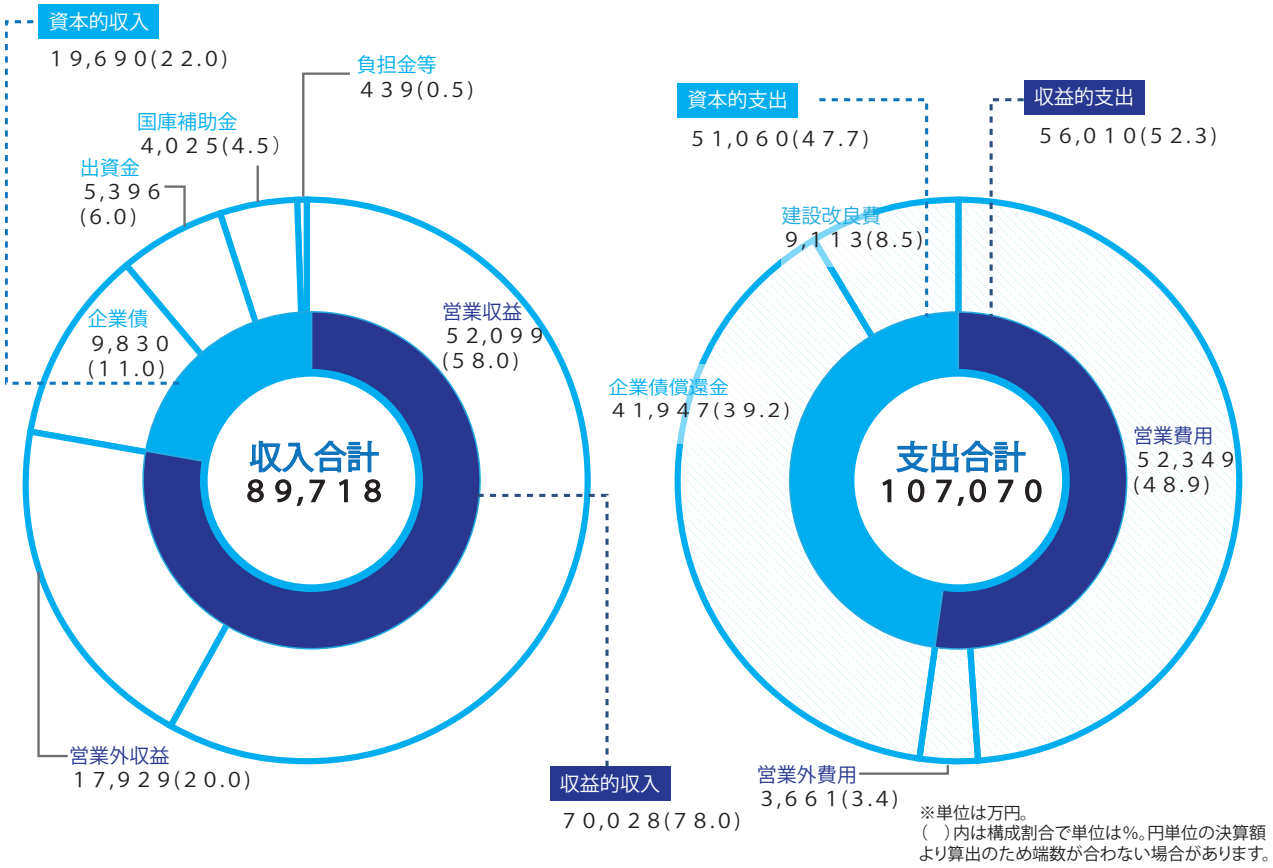
収入５億７，５７４万円。支出７億３，４９８万円。会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費（収益的収支）では４，７４０万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費（資本的収支）では２億６６４万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。

下水道事業会計の決算概要



収入８億９，７１８万円。支出１０億７，０７０万円。会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では１億４，０１８万円の黒字となりましたが、下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では３億１，３７０万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。

写真でみる

主な実施事業

栗山町第６次総合計画
の主要施策より

※栗山町第６次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画事業3　老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。

（更新したごみ収集車）

決算額 **16,221** 千円

計画事業6　町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。

（全町一斉清掃）

決算額 **473** 千円

計画事業11　災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。

（更新した備蓄食料）

決算額 **5,170** 千円

計画事業15　防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。

（土砂災害・河川氾濫を想定した総合防災訓練）

決算額 **36** 千円

計画事業16　消防車両などを計画的に更新します。

（更新した救助工作車）

決算額 **78,711** 千円

計画事業35　「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。

（空知FCガールズ全国大会出場報告）

決算額 **961** 千円

計画事業196 地域と連携した「キャリア教育」を推進します。

（キャリア教育体験発表会）

決算額 **３７** 千円

計画事業51 優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。

（介護福祉学校での体験入学）

決算額 **１１９，２７４** 千円

計画事業198 栗山高校の未来像を話し合う町民委員会を設置します。

（栗山高等学校の魅力づくり委員会）

決算額 **１２４** 千円

計画事業55 自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。

（キッズクラブ「親子で体験！サカナ釣り」）

決算額 **８０** 千円

計画事業63 ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。

（ハサンベツ里山の保全作業）

決算額 **７，５４３** 千円

計画事業67 年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。

（歩けあるけ運動）

決算額 **３，９２０** 千円

計画事業80 脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。

（生活習慣病予防等のための特定検診）

決算額 19,985 千円

計画事業85 地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。

（町民の健康づくりのための「健足クラブ」）

決算額 610 千円

計画事業91 妊娠・出産・子育てに関する、相談機能を充実します。

（ファイナンシャルプランナーによる出前講座）

決算額 60 千円

計画事業94 児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。

（放課後児童クラブの様子）

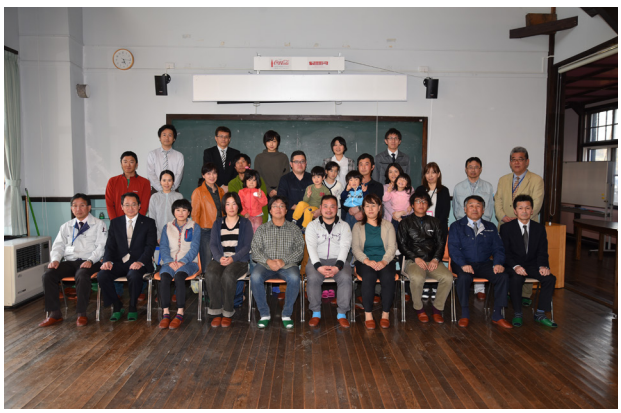
決算額 24,490 千円

計画事業101 高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。

（身体・認知機能低下予防のための「安全運転講習会」）

決算額 9,906 千円

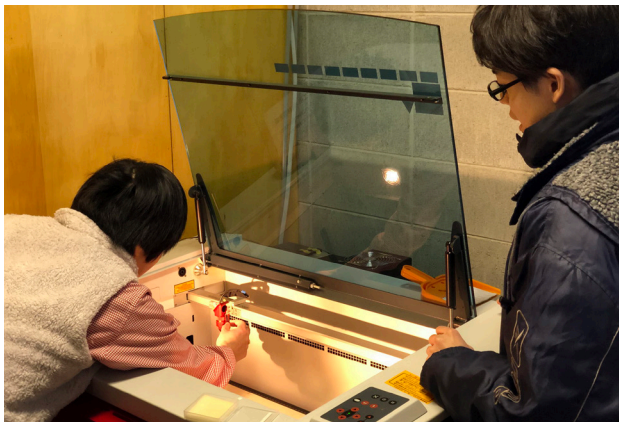
計画事業110 新規就農者の受け入れを進めます。



（新規就農者等交流会の様子）

決算額 35,767 千円

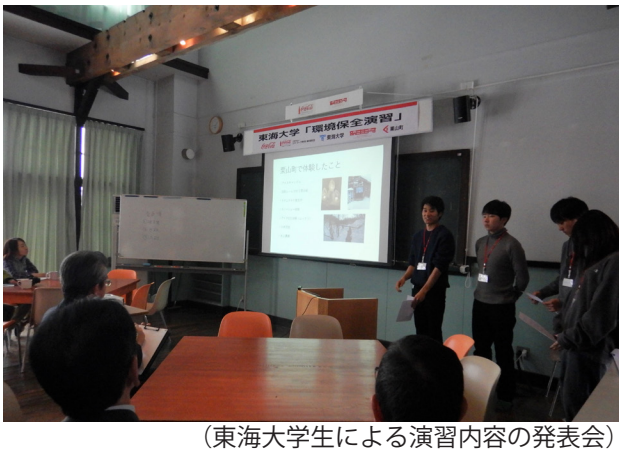
計画事業193 ものづくりＤＩＹ工房の導入・活用を推進します。



（レーザーカッターのモニター利用）

決算額 **１４，０８７** 千円

計画事業128 自然・農村環境を活かした体験教育プログラムを開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。



（東海大学生による演習内容の発表会）

決算額 **２５０** 千円

計画事業129 栗山町への移住・定住を促進します。

（東京で開催された移住相談会）

決算額 **１４，０６１** 千円

計画事業192 くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。

（札幌ドームで開催された「サッポロモノヴィレッジ」）

決算額 **９，９９４** 千円

計画事業138 地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。

（室蘭本線の観光列車モニターツアー）

決算額 **８，１９５** 千円

計画事業139 町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。

（コミュニティバスの運行）

決算額 **７４，７８１** 千円

計画事業204 雨煙別川流域河川整備を推進します。

（産卵床整備事業）

決算額 **1，394** 千円

計画事業152 新町地区の再開発整備事業に取り組みます。

（栗山駅南交流拠点施設の隣に整備された駐車場）

決算額 **207，237** 千円

計画事業160 景観資源の保全・活用を図ります。

（景観フォトコンテスト展示会）

決算額 **225** 千円

計画事業162 御大師山周辺（栗山公園等）の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。

（御大師山に整備された展望台）

決算額 **5，520** 千円

計画事業167 町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。

（栗山駅前花壇づくり事業）

決算額 **1，127** 千円

計画事業179 地域振興策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。

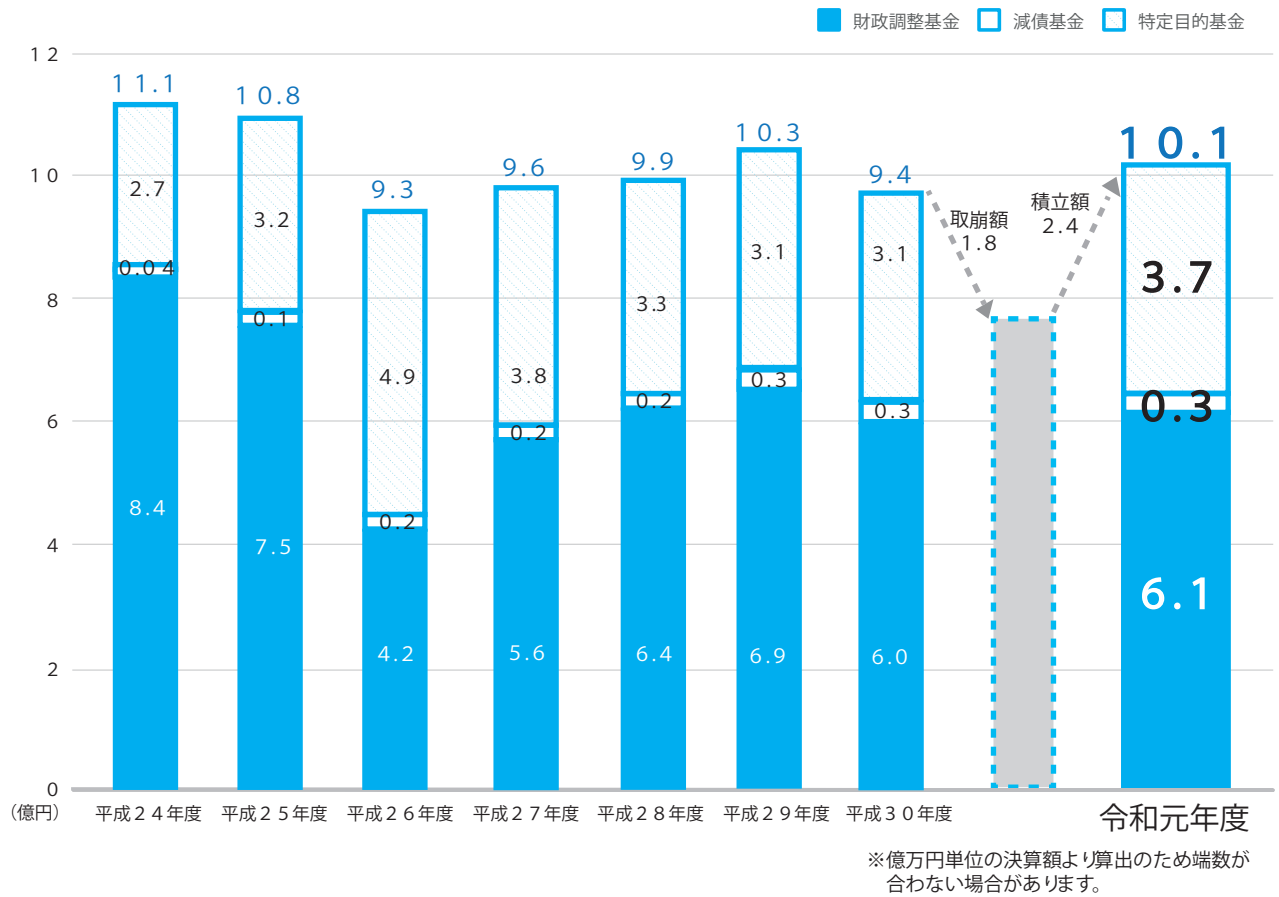
（南空知４町広域連携での「サイクル観光事業」）

決算額 **1，674** 千円

グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）



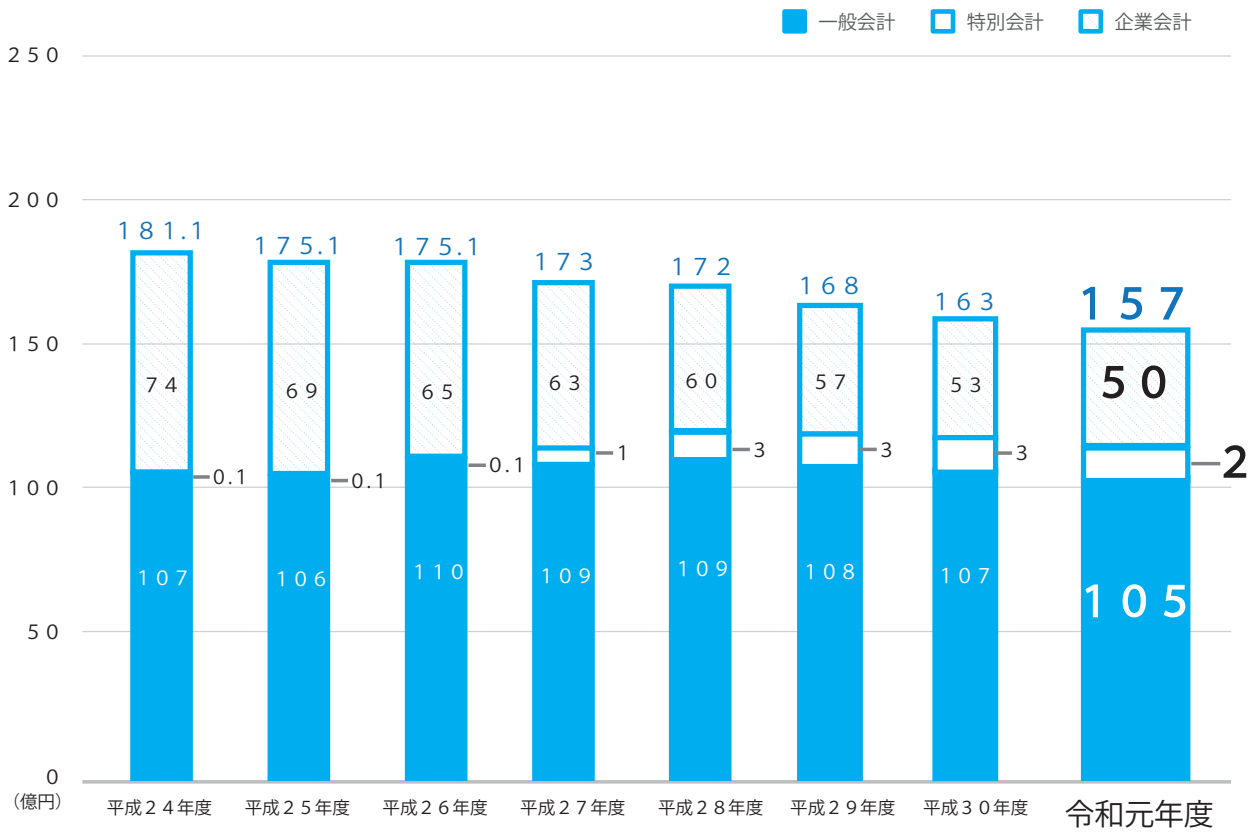
※億万円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

基金の年度末残額は１０億７９０万円。
前年比５，９２８万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で１０億７９０万円になり、前年度比で５，９２８万円の増となりました。

なお、令和元年度における取り崩し額は１億７，８５９万円で、積み立て額は２億３，７８７万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は１５７億６，８５５万円。
前年比６億８９４万円の減になりました。

町債（町の借り入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借り入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で１５７億６，８５５万円となり、前年比で６億８９４万円の減となりました。

財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

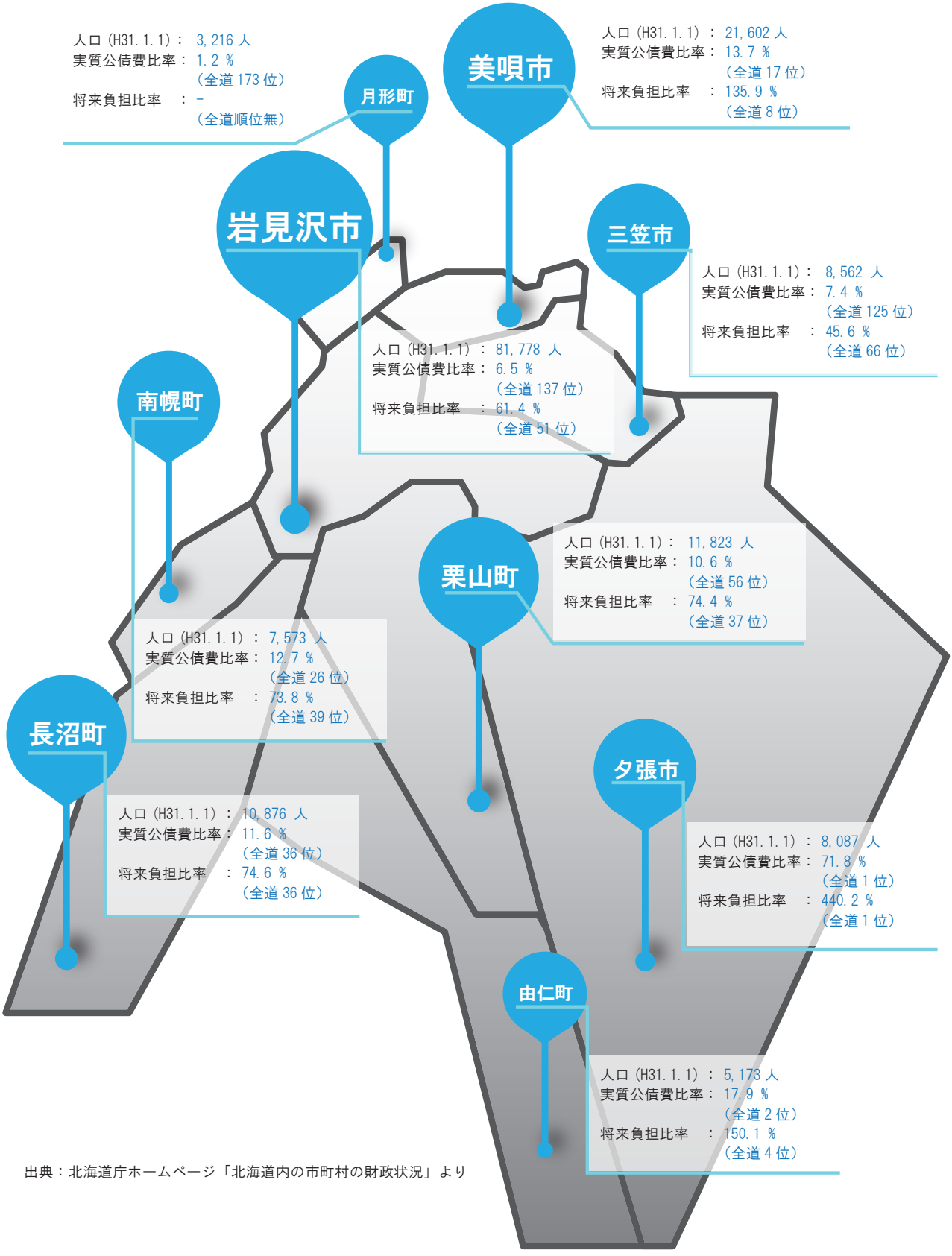
指　標		指標の説明	比　率 (R 元決算)	全道市町村の平均 (H30 決算)	基準値	
					早期健全化基　準	財政再生基　準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	１５％	２０％
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	２０％	３０％
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	１１.４％	７.１％	２５％	３５％
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	６２.９％	４８.４％	３５０％	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)		資金不足額（赤字額）の事業規模に対する比率	該当無		２０％	

まちの財政は「健全基準」にありますが、
依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率や将来負担比率は依然として全道市町村平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。

参考　南空知９市町の平成３０年度普通会計決算概要



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和元年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「令和元年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発　行 / 栗山町
発行日 / 令和２年１０月
編　集 / 経営企画課行政経営グループ
〒０６９－１５１２　北海道夕張郡栗山町松風３丁目２５２番地
ＴＥＬ：０１２３－７３－７５０３（直通）　ＦＡＸ：０１２３－７２－３１７９（代表）
ＷＥＢ：http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/　※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。